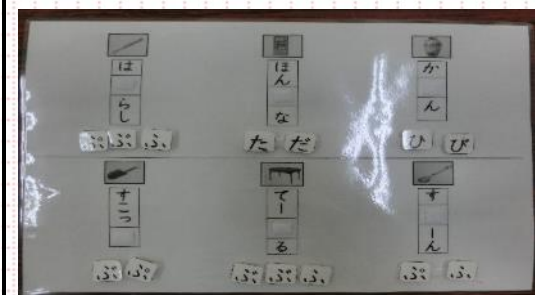


<ことばの教材>

写真	ねらい	使い方
	・平仮名のマッチング	・見本と同じ文字カードをマッチングさせる。
	・始点から終点への運筆	・型抜きを使って、始点から終点に向かって線を結ぶ。
	・平仮名の理解	・イラストの部分を隠し、横の枠に文字カードを入れて単語を作り、隠しているボードをはがして答えを確認する。
	・文字の構成の理解	・字を書いた台紙の上に一画ずつ貼っていく。



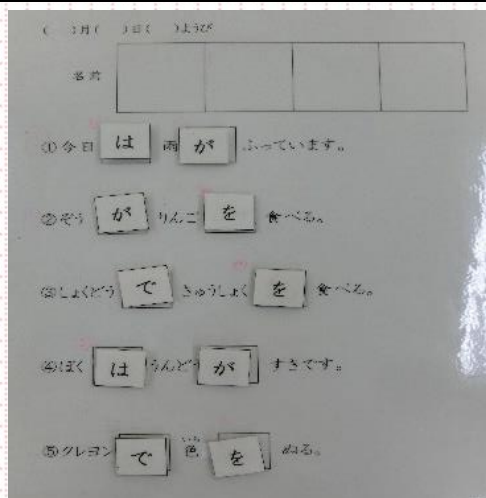
・濁音、半濁音の理解

・空欄に答えを貼っていく。見本を用意し、マッピングすることから始める。



・平仮名の一文字ずつの読み理解

・カルタのように使う。



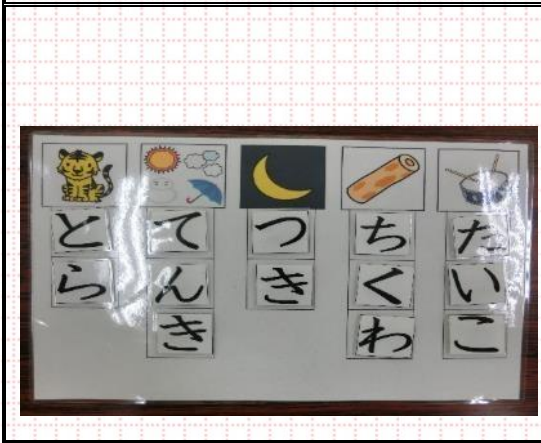
・助詞の使い方の理解

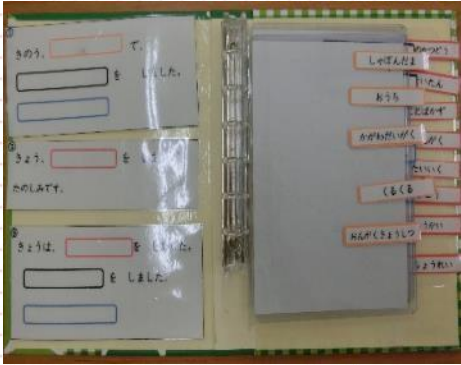
・文にあった助詞を選んで貼る。

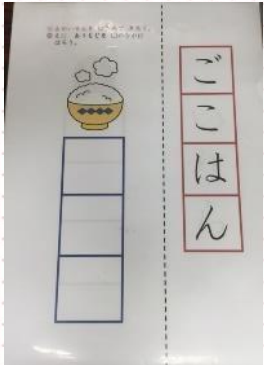


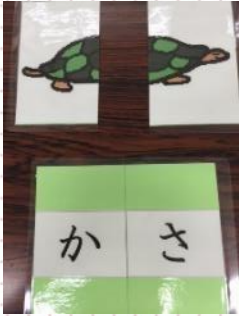
・平仮名の理解
・絵と字のマッピング

・時間割の絵カードと平仮名カードをマッピングしていく。

	・平仮名の理解 ・単語の理解 (時間割)	・一文字ずつ貼って単語を作る。
	・平仮名の理解 ・単語の理解 (物の名前)	・一文字ずつ貼って単語を作る。
	・平仮名の理解 ・単語の理解 (物の名前)	・絵と文字カードのマッチングをする。
	・平仮名の理解 ・単語の理解 ・カテゴリーの分類	・単語のカードをボードに書かれた仲間に分けて貼っていく。

	・平仮名の理解 ・単語の理解 (調理道具)	・写真の名前のカードを選んで貼る。
	・日記を書く	・枠の色と同じ色の選択肢の中からカードを選んで貼り、文を作る。できたら読む。できたものを見ながらノートに書く。
	・絵本の世界を楽しむ ・内容の理解を深める	・「サンドイッチ サンドイッチ」の絵本の内容に合わせて、フェルト教材を操作し、サンドイッチを作っていく。

	・身近な物の名称の理解を促す。 ・はさみで切ったりのりで貼ったりして、手先の動きを取り入れる。	・意図的に必要のない文字を入れておくことで、よく考えて取り組むことができる。(難しい場合は必要な文字数から取り組む) ・必要な文字を切り貼りすることで、身近な道具を使うこともできる。
---	--	--

	・ 2 文字で構成される物の名称の理解を促す。	・ 2 つの平仮名を正しく組み合わせることができた場合、カードを裏返すとその物のイラストができている仕組み。期待感をもって正解を確かめることができる。
	・ 身近な物を色やカテゴリなどで分別する力を養う。 ・ 言葉での指示の理解を促す。	・ 子どもの実態に応じていろいろな使い方ができる。色で分ける、同じイラストで分けるといった単純な課題から、「〇〇色の〇〇」といったように二つの属性に当てはまるものを選択したり、説明したりする課題にも使うことができる。
	・ 2 文字で構成される物の名称の理解を促す。 ・ 平仮名のもつ音を意識することを目指す。	・ 平仮名部分は裏に折り返すことができるようになっている。イラストのみを提示して名称を確認したあと、一文字ずつ出すことで、平仮名のもつ音を視覚と音声とで確かめるようにする。
	・ 絵とひらがなのマッチング	・ 一人で取り組むためのミニ課題。イラストとマグネットに書かれた平仮名の名前を対応させる。



・ 文字のマッチング

・ 一人で取り組むためのミニ課題。片仮名やアルファベットが書かれたシートに、同じく片仮名やアルファベットが書かれたマグネットを対応させる。